

6 番	新井 亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1. 困難を抱える子どもたちの教育を保障する瀬戸市の役割と責任～子どもたちの最善の利益を求めて～</p> <p>【質問趣旨】 昨年、日本政府は国連子どもの権利委員会から、1994年の子どもの権利条約の批准以来、過去3回のどの勧告よりも厳しく深刻に受けとめなければならぬ勧告を受けました。日本の子どもたちがおかれている現状とその打開に向けて①子どもの「保護」に包括的な政策と戦略をもって取り組みなさい②社会の競争的な環境から子ども時代と子どもの発達を守りなさい③子どもが意見を聴いてもらえる権利（意見表明権）を子どもの育つ環境の全ての場に確保しなさい、という</p>	<p>(1) 世界からみた日本の教育の実態と瀬戸市の教育</p> <p>(2) 学校に行けない子どもたちの実態</p>	<p>① 趣旨でも述べたように日本政府に対して大変厳しい深刻な勧告がされました。社会の競争的な性格から子どもを守る部分では、「社会の競争的な性格」が子どもの発達の阻害要因であるとも指摘されています。瀬戸市の教育の実態と照らし合わせて、この勧告をどう受けとめるか見解を伺います。</p> <p>① 瀬戸市では不登校児童生徒の概要を別紙①のように報告しています。月5日以上欠席者を長欠者とよび、平成28年164人、平成29年205人、平成30年186人となっています。少子化で子どもの人数が減っていますが、学校へ行けない子どもたちが減らない現状をどう考えているか伺います。また子どもたちが学校に行けない理由をどう把握しているか伺います。</p> <p>② 学校に行けない子どもたちには様々な背景があり困難を抱えています。そういった子どもたちに対して学校はどのような支援や連携を行っているのか伺います。</p> <p>③ 学校に行けない子どもたちの「学びの場」と「居場所」として、適応指導教室オアシス21について伺います。オアシス21の利用は、どのような子どもが対象でどんな過ごし方をしているのか伺います。また定員は設定していないと伺っていますが、受け皿としては15名分の机と椅子しかないと聞いています。利用したくてもできない子どもたちはどうしているのか伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
 2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
 3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

6 番	新井 亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>3 つのベースからなり「先進国」に対しては異例とも言える内容もありました。</p> <p>瀬戸市においても、困難を抱えた子どもたちがいます。教員の多忙な働き方は解消されておらず、少子化で子どもの人数が減っていても、学校に行けない子どもたちの割合は増えています。子どもたちにとっては義務教育の期間をいかに豊かに過ごすかが、その後の人生をも左右します。全ての子どもたちが豊かな教育を受ける権利を保障するための瀬戸市の役割と責任を果たし子どもたちの最善の利益を守るべく改善を求めます。</p>	<p>(3) 虐待を受けている子どもたちの実態</p>	<p>④ 学校に行けない子どもたちにも教育を受ける権利を保障しなければなりません。教育委員会や不登校対策事業の一環であるオアシス相談への相談指導では具体的にどのような指導や対応が行われているか伺います。また相談の結果、市内の小中学校へ転校した子どもたちがいるか伺います。</p> <p>① 児童虐待対応件数は年々増加し国・県・瀬戸市でも最高値を更新していると報告されており、瀬戸市の家庭児童相談室の相談受付件数は、2014年＝63件、2017年＝123件、2018年＝175件と年々増加しています。学校からの通報件数も増えており、小・中学生も含まれていると思いますが、このような現状をどう考えているか伺います。</p> <p>② 瀬戸市では保護が必要な子どもや家庭への支援を行うための要保護児童対策地域協議会の構成員に「学校」が入っています。誰が出席しどのような役割と責任を担っているのか伺います。</p> <p>③ 虐待には身体的なもの、精神的なもの、育児子育ての放棄、性的なものがあります。特に子どもに対する虐待は発見しにくく命に直結する可能性も高いです。緊急対応で医療機関や警察などとの連携が必要なこともあります。また家庭の中で受けることが多く発見されにくい虐待を、学校で発見することもあります。深刻なケースにも対応できるだけの知識とゆとりをもった教職員の体制が必要と考えますが、現状の体制が十分か見解を伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

6 番	新井 亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(4) 特別支援学級の子どもや、配慮の必要(普通学級の発達障害やその疑い、何らかの困難を抱える)子どもたちの実態	<p>① 医療の発達や障害に対する知識や理解の深まりと広がり、「障害があっても学びたい、学ばせたい」「友達がほしい」という願いのもとの運動の歴史があり、現在では「障害があっても学校に通う」ことが当たり前になりました。特別支援学校や特別支援学級、また軽度の発達障害やその疑いがあり配慮の必要な子どもたちは小学校や中学校のクラス(普通学級)に在籍するのも珍しいことではありません。今年度5月時点での特別支援学級については、小学校全体で122名(46クラス)、中学校全体で43名(15クラス)となっています。教職員の配置や専門性について十分な体制が整っているのか伺います。</p> <p>② 瀬戸市の特別支援級の内訳を公表されている範囲で確認しました。特別支援学校(瀬戸つばき特別支援学校など)では小中学部の学級編成は6人1学級であるのに対し、特別支援学級では8人1学級です。また通常の複式学級では3学年以上またぐことはありませんが、特別支援学級になると瀬戸市では1クラスに低学年から高学年までのクラスもあります。こういった現状をどう考えているか伺います。</p> <p>③ 別紙②にあるように2007年から2017年の10年間で、特別支援学級に在籍する児童生徒が2倍以上になっているのに対して、特別支援学級の担当教員の数は1.61倍と追いついていないのが現状です。障害などがあり配慮の必要な子どもたちの教育を受ける権利を保障するためにも、直ちに改善が必要と考えますが見解を伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

6 番	新井 亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(5) 外国人の子どもたちの実態	<p>④ 普通学級に在籍する発達障害など配慮の必要な子どもたちの中には、みんなと同じ事を同じスピードで行うのが困難な子どもたちもいると思います。そのような子どもたちには一人ひとりに合わせた支援が必要です。学校ではどのような支援体制があり現状をどう考えているか伺います。また子どもたちの発達に大切な放課や放課後が、発達障害や配慮の必要な子どもたちにとってはどうあるべきか見解を伺います。</p> <p>① 別紙③のように愛知県の学校には外国籍の子どもが9,100人在籍しており2位の神奈川県を大きく引き離して国内1位です。瀬戸市の小中学校に在籍する外国人(国籍に関わらず)の子どもたちの人数と、その子どもたちへの教育の体制を伺います。</p> <p>② 国籍に関わらず外国人の子どもたちの中で、日本語指導を受けている子どもたちの教育についての課題と対策を伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

6 番	新井 亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(6) スクールソーシャルワーカーの役割と配置体制の強化	<p>① 瀬戸市では 2016 年度から教育相談体制の整備としてスクールソーシャルワーカーが、下記のように配置されており、1 週間に 2 日（1 日 7 時間）の勤務です。スクールソーシャルワーカーの役割と活動を具体的に伺います。</p> <p><担当中学校ブロック></p> <p>A＝中学（光陵・祖東・本山）・瀬戸特別支援学校 小学校（萩山・八幡・原山・古瀬戸・東明・祖母懐・深川・道泉）</p> <p>B＝中学（水無瀬・南山・水野） 小学校（陶原・長根・效範・水南・東山・西陵・水野）</p> <p>C＝中学（幡山・品野） 小学校（幡山東・幡山西・下品野・品野台・掛川）</p> <p>② スクールソーシャルワーカーとは子どもや家庭の困難の解決に向けて関係機関との連携・調整などを行いますが、学校、瀬戸市教育委員会、瀬戸市社会福祉課やこども未来課、適応指導教室（オアシス）、児童相談所、保健所、医療機関、警察、などがあります。これらの関係機関と連携し問題を解決していく役割を果たすスクールソーシャルワーカーを配置することになった背景を伺います。</p> <p>③ 学校に行けない、虐待、発達障害の子どもたちなど、スクールソーシャルワーカーの活動は幅広く多岐にわたります。現在の派遣形態（29 校を 3 名で担当・週 2 日）では不十分と考えますが見解を伺います。</p> <p>④ 困難を抱えている子どもや教員にとって必要不可欠な存在であるスクールソーシャルワーカーは各校に 1 名ずつ配置が必要と考えるが見解を伺います。</p>

(5 ページ)

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

6 番	新井 亜由美 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	<p>(7) 幅広く柔軟で緊密な連携の必要性</p> <p>(8) 教員の加配を瀬戸市独自で実施すべき</p>	<p>① 子ども総合計画は「子どもの最善の利益」の実現が掲げられています。そのために保健・医療・福祉、教育、就労・雇用などさまざまな分野にわたり、庁内関係部局間の緊密な連携に努めることで総合的で効果的な計画の推進を図り、計画全体は子ども子育て審議会が審議調査するとされています。このような趣旨と背景に基づいて策定された中に、教育アクションプランも位置づけられていますが同様に「子どもの最善の利益」の実現に向けて計画実施されるものか伺います。</p> <p>② 連携について伺いますが、学校に行けない子どもたちの教育を受ける権利を保障する意味でも、学校や教育委員会は社会福祉課との連携を強化する必要があると考えますが見解を伺います。</p> <p>① 2020年度予算大綱では「人づくり」という言葉が何度も出てきました。教育現場で働く教員が心身共に健康で楽しく生活し働いていなければ、子どもたちが豊かに育つ教育は保障できません。現場の教員が疲弊することなく子どもたちと向き合い生き生きと働ける学校にするためには、瀬戸市独自で教員の加配が必要不可欠です。近隣では日進市は市独自で教員の加配を行っています。他にも県内には同様に独自で教員の加配をしている自治体があります。取り分け4月開校するにじの丘小・中学校と各学校の特別支援学級には、瀬戸市独自の教員の加配が必要と考えますが見解を伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。